

令和2年6月3日

学生の皆さん
保護者各位

沼津工業高等専門学校
校長 中村 聡

令和2年度の授業実施方法等に関する当面の方針

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため始業を遅らせてきましたが、5月18日に遠隔通信による始業式を行い、5月19日より遠隔授業を開始しました。遠隔授業開始後2週間が過ぎましたが、一部実験・実習科目を除いてほぼ順調に実施されています。学生の皆さんには新しい学修方法の一つとして是非前向きに取り組んでいただきたいと思います。

さて、5月14日に静岡県が緊急事態宣言の対象地域から外れ、5月25日には首都圏を含む全国で緊急事態宣言が解除されたことから、近隣の高校、小中学校では登校を開始しています。学生・保護者の皆様もいち早い通常登校の開始を待ち望んでいることと思います。本校としても、学生の皆さんの安全を確保する対策について検討し、通常登校による学校再開を目指しています。しかし、本校は在学生の半数近い約470名が寮生であること、静岡県外からの通学生もいること、まだ入国できないでいる留学生もいることなど、近隣の学校とは異なる事情があり、慎重な判断が必要です。

通常登校による学校再開及び開寮にあたっては、政府の要請によるいわゆる3密の回避対策を取ることが必要です。しかし、寮では相部屋、食堂、風呂での感染防止対策について、現状では有効な手立てがありません。教室での3密解消対策も容易ではありません。さらに、県レベルでは、現在も県境を越える移動の自粛が求められています。このようなことから、現時点では全面開寮及び学生の皆さんの一斉登校はできず、しばらくは遠隔授業を継続することになります。

現在、分散登校、分割開寮などの方法を検討しながら、実験・実習科目を中心に学生の皆さんが登校して授業を受けられるように考えています。前期につきましては、遠隔授業と分散登校を併用した変則的な授業実施を行う計画です。後期につきましては不透明ですが、可能な限り通常登校による授業実施を考えています。以上は本科に対する方針です。専攻科につきましては、寮生がいないことから、県境を越える移動の自粛要請が解除され次第、通常登校の開始を検討しています。

今後も、政府、静岡県、高専機構からの通達、他の国立高専との情報交換を踏まえて、慎重かつ柔軟に対応してまいります。今後の方針につきましては、概ね6月19日頃の連絡を予定しています。

皆さんは現在登校できませんが、学校・学友とつながっています。決して一人ではありません。困ったことや心配なことがありましたら、担任、担当主事、連絡窓口にご連絡ください。大変ご不自由をおかけしますが、新型コロナウイルスの感染を避ける対策を取りながら、自宅で遠隔授業に取り組んでください。

学生および保護者の皆様、そして本校教職員が一丸となって、この難関を乗り越えたいと考えています。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

以上

新型コロナ連絡窓口

電話：055-926-5801(平日 9 時 00 分～17 時 00 分)

E-mail：covid-19 (at) numazu-ct.ac.jp ((at)は@に置き換えてください)